

川西コミュニティセンター 市長と語る会

日 時：令和7年10月25日（土） 午後13時30分～14時40分

場 所：川西コミュニティセンター

参加者：20名

市出席者：市長、地域担当職員【高山（生活環境課）、田中（農林水産課）】、都市計画課【塊場課長】、秘書課【森本】

1. あいさつ

（会長）

昨日、一昨日と全国大会が富山で開催されており、まだ頭の中がそのような状態であるため、ご承知おきください。

本日はお忙しい中、松永市長をはじめ、市役所の関係者の皆様にもご出席いただき、「みんなでまちづくり 市長との語る会」が開催できたこと、大変光栄に思っている。

地域にはさまざまな課題があり、今回のテーマをどうするかについても、いろいろと検討を重ねてまいった。6年ほど前から取り組んでいる（仮称）森林公園について、今後どのように進めていくべきか、アドバイスをいただきながら、方向性を定めていきたいと考えている。皆様からも率直なご意見をいただき、進めていけたらいいと思っている。どうぞよろしくお願いいたします。

（市長）

本日は、こうして時間をいただけたことに感謝申し上げます。どうぞよろしくお願いいたします。さて、最初に少しだけ、今年丸亀市で私が特に嬉しかったことをお話しさせていただく。

現在、日本全体が人口減少に直面している。丸亀市も例外ではない。しかしその中でも、子育て支援をはじめ、赤ちゃんからシニアまで、すべての世代が元気に輝けるまちづくりを目指して取り組んでいる。人口減少は避けられないが、交流人口の増加や観光誘致などを通じて、丸亀に人が訪れ、関わりを持っていただけるよう努力している。

岩崎会長からもお話があったが、富山での連合自治会の全国大会、本当にお疲れ様でした。丸亀市からも職員が参加し、報告を受けている。来年度には、丸亀市で全国連合自治会の大会が開催される予定で、これも一つの交流あり、非常に光栄に思っている。

また、今年4月には、さぬき広島で約16年ぶりに小学校・中学校が再開した。移住者の増加により、4月時点で小学生3名、中学生1名が入学し、私も開校式・入学式に参加した。

島民の皆さんも非常に喜んでおり、夏にはさらに中学生が1名転校してきて、現在は中学生2名、小学生3名となっている。来春にはさらに増える可能性もあると聞いている。ちなみに、児童生徒5名に対して先生が11名という、非常に手厚い教育環境が整っており、地域の皆さんも大変喜んでいいる。

次に、もう一つ嬉しかったこととして、今年7月20日に丸亀市民球場が10周年を迎え、プロ野球の若手選手による「フレッシュオールスター」が開催された。5,000席の球場と5,000の芝生席だったが満席となり、他にも候補地がある中で丸亀が選ばれたことは非常に誇らしいことであった。この球場は丸亀からプロ野球選手を輩出しようという「スタートフォーメジャー」のコンセプトで建設され、これまでに8名のプロ選手が誕生して活躍している。

さらに、11月21日・22日には「丸亀うどん祭り」を開催する。これは丸亀市、トリドールホールディングス、丸亀製麺の三者が主催する大規模イベントで、芸能人も参加予定である。地元のうどんやの方も協力してくださり、2日間にわたって盛大に行われる。2年前から企画を進めてきて、今回の開催が決定し、非常に嬉しく思っている。

今日は、皆様から忌憚のないご意見をいただければ幸いである。私も引き続き、元気なまちづくりに全力で取り組んでまいります。川西コミュニティの皆様、岩崎会長をはじめ、日頃からのご理解とご協力に心より感謝申し上げます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

2. 意見交換

(会長)

本日のテーマである「森の再生プロジェクト」の経緯を説明する。

令和の時代に入って間もなく、新型コロナウイルスの感染が全国的に広がり、地域での通常の活動が困難な状況となった。特に、総務部会を中心に行っていた自治会の加入活動年間1000件近くの取り組んでいた自宅訪問が中止せざるを得なくなった。また、防災活動も制限され、地域の要となる活動がすべてストップしてしまった。

このままでは、地域の活力が失われてしまうという危機感があった。私自身も、何か新しい取り組みを始めなければと考え、健康や交流を促進するような活動を模索していた。

そんな折、隣町の歯科医のご家族から話があった。不動産業も営んでおり、社員寮の建設を計画していた土地が、排水の問題で頓挫してしまったとのことであった。その土地は長年放置され、ゴミの不法投棄などもあり、地域の環境問題となっていた。

そこで、「この土地を地域のために活用できないか」という話が持ち上がり、私たちがボランティアで環境整備を始めることになり、6年前から取り組みを続けている。

当初は行政に支援をお願いすることも考えたが、「地域の力を活かして、自分たちでやってみよう」と思い、地域住民や小学生などと一緒に整備を進めてきた。また、アカシアの木が自生しており、貴重な環境資源である。

市内には公園が少ないという課題もあり、市長は「公園を増やす」という方針を掲げているので、いい形で残せるようにアイデアをいただきたい。

現在、整備対象の土地は約 5000 平米あり、地権者は 4 名。皆さん「どのように使っても構わない」と約束をいただいている。

現在の借地を丸亀市で購入してもらった方がいいのではないかと。公園の今後の運営形態について、主管課長も交えてご意見をいただきながら、より良い形を模索していきたいと思っている。

(市長)

私も何度も訪れており、ご苦労はよく知っている。詳しくは担当課長から話をしたが、その前に私の「公園を作っていきたい」という思いについて話をさせていただく。

私はこれまで市議会議員として 20 年間活動してきた。その中で市民の皆さんから多くの声をいただいたが、最も多かったのは「雇用のあるまちをつくってほしい」という要望であった。若者が都会に出て就職し、そのまま地元に戻ってこないという現状がある。特に丸亀市は、若い女性は県外に出た後に戻ってくる割合が非常に低く、人口減少にもつながっている。出生数も減少傾向にあり、かつては年間 1000 人を超えていたのが、現在では 700 人台にまで落ち込んでいる。雇用の次に多かった要望は「教育のまち」、そして「医療・介護のまち」。

それとは別に、「近くに公園をつくってほしい」という声も多く寄せられた。これは特に小さなお子さんを持つ保護者の方々からの要望である。私は PTA 活動を通じて、こうした声を直接聞いてきた。

公園は子どもから高齢者まで、すべての世代が元気に過ごせる場所である。しかし、既存の公園は「ボール遊び禁止」「花火禁止」「バーベキュー禁止」など、禁止事項が多く、利用しづらい状況である。私自身も子どもと公園で遊んでいた際に、注意された経験がある。

そこで私は、「コミュニティが管理する公園」の整備を進めている。地域の方々がルールを決め、話し合いを通じて柔軟に運営できる公園。例えば、ネットで囲って安全を確保すればボール遊びも可能になり、バーベキューや花火も地域の合意があれば実施できる。

すでに第 1 号として「飯山南コミュニティセンター」の公園が完成し、地域で管理されている。第 2 号は郡家小学校近くでとりかかっている。第 3 号は城南小学校近くで整備が進んでいる。さらにその他からも要望が寄せられている。

また、丸亀市には「グリーンとモーヴィ」という施設がある。これはボートレースの収益を活用して整備されたもので、子どもと保護者が一緒に遊べる場所である。北欧の遊具メーカー「ボーンエルンド」の協力を得て、質の高いスタッフによるサポートが提供されている。市外からも多くの利用者が来ており、非常に人気のある施設となっている。

最後に海浜公園について、現在は草が生い茂っている状態であるが、ここを整備して、海が見える唯一の公園として再生し、魅力的な場所にしていきたいと思っている。

(都市計画課長)

本市では、バランスのとれた公園配置を目標としており、特に身近な公園が不足してい

る地域への整備を優先的に進めている。川西地区においては、自然の多く残る土器川生物公園や、運動施設として利用されている土器川公園、鍛冶屋高架下公園などが配置され、また、令和 6 年度には、金山児童遊園の再整備を行うなど、公園配置の目標水準を上回っている状況と認識している。

また、公園敷地の購入に際しての財源確保も必要になるが、地区公園の整備等については、公園の不足している地域から順次整備を進める計画となっており、そのような地域での公園の整備を進めていること、および既存公園の老朽化にともない、修繕にも多額の財政負担が継続的に見込まれることから、1 点目のご質問の、「かわにしわくわく森林公園」の土地を、都市公園として購入することについては、丸亀市として現在のところ、非常に困難であると考えている。

次に 2 点目のご質問の維持管理経費を含めた今後の管理運営についての配慮について、市が管理する都市公園ではないため、市が主体として経費の負担をすることはむずかしいことから、維持管理については、引き続き地元コミュニティで対応いただきたいと考えている。

また、丸亀市緑のまちづくり協議会では、コミュニティや市民団体を対象とした自発的な緑化推進活動に対しての苗の購入などの支援もあるので、ご活用いただければと考えている。

(会長)

順番はあると思うが、長い目で見て考えてほしい。地権者も代替わりするであろうし、コミュニティの中でも、組織的に運営していくのは大変である。おおよその目途があれば、そこまではコミュニティでやっていける。

市長からもお話があったように、今後はそれぞれのコミュニティが独自のルールを定めて、公園の維持管理を担っていくのが理想的だと考えている。それでも、宙ぶらりんのままでは地権者にも失礼であるので、市長から決意表明していただきたい。

(市長)

都市計画課長からの説明のとおり、都市公園として購入、維持管理については現段階では難しい。会長が言われたように、時代が変わればどうなるかは読めないが、公園の整備は進めていきたいので、ご意見は課題として検討したい。

(都市計画課長)

法令や条例もあることから行政職員としては明確にお答えできない点もある。ただ、市長には、公園整備に対する強い思いがあるということで、該当の公園がどのようにできるのか協議を重ねながら、方法が見つかるのであれば市長に報告し、検討させていただきたい。

(市長)

この件については、すでに幹部とも話をしている。その際に言われるのが、課長からも先ほど触れていたが、川西町の公園については、面積の広さが際立っており、非常に大き

な規模となっている。書面上では、土器川生物公園や運動公園などがある。

(地域担当職員 高山)

毎月、役員会に参加させていただき、皆様の活動についてお話を伺ったり、丸亀市からの情報を発信させていただいている。

本日は「みんなでまちづくり 市長と語る会」ということで、川西町からの質問として「公園」に関する話題が取り上げられている。私は城南地区に住んでいる。幸い、私の自宅の近くには小さな公園があるが、城南地区は広い地域なので、公園がまったくない場所もある。こうした状況を踏まえ、市長がお話しされたように、市内全体でバランスよく公園整備を進めていくことが大切だと感じている。

先ほど都市計画課長から協議という話もあったので、すぐに具体的な結論が出るわけではないが、今後に向けた相談を進めていったらいいのではないかと考えている。

(男性1)

市長がお話されていた内容は、主に「運動公園」を中心としたもの。「かわにしわくわく森林公園」は、憩いの公園として整備してはどうか。運動公園はたくさんあると言われるが、公園にはさまざまな用途がある。たとえば、桜や植栽を楽しめるような空間にすることで、地域の方々にとって心の癒しとなるような場を提供することもできる。そうした方向性で整備を進めることも、十分に意義があるのではないかと。

また、市の規則や条例があることは承知しているが、市長の裁量によって判断される部分もあると聞いている。

そのため、今回の件についても、市長の裁量の範囲でご検討いただけないか。

(市長)

市長の裁量については、実際にはなかなかそうはいかないのが現状である。少し話をさせていただく。

予算の問題は大きく、どこから財源を確保するかが常に課題となる。市民の方からは「ボートレースで利益が出ているのだから、それを使えばいいのでは？」という声もある。実際、丸亀市ではボートレースの収益が好調で、3年連続で約90億円の繰り入れがあった。

市の年間予算は、以前は400億円台であったが、現在では790億円にまで増加している。この予算が組めているのは、ボートレースの収益に加え、税収の増加などによる。

市の大きな支出の一つが学校整備であるが、今年度だけでも14校の学校関連予算が組み立てられており、建築費全体では約270億円。そのうち約180億円が学校関連に充てられている。

学校整備には国の交付金を活用しているが、そのためには一度市が借金（市債）をして事業を進める必要がある。例えば、城東小学校の整備には50数億円かかり、そのうち約40%が交付金として戻ってくる仕組みである。とはいえ、借金が増えることには変わりなく、財政への影響は大きい。

現在、丸亀市の実質公債費比率は12%台に達しており、これが18%を超えると国の指導を受けることになる。夕張市のような財政破綻を避けるためにも、慎重な予算運営が求め

られている。

話が長くなったが、予算の問題は大きい。

現在、コミュニティで整備が進められている公園は、運動公園というよりも「憩いの公園」が強い。

(副会長)

話を聞いている中でお願いしたいのは、約 5,000 m²の土地を購入していただきたいということ。現在、土地の価格が安くなっている時期であるので、今が購入の好機だと考えている。仮に 1 坪あたり 1 万円で計算しても、一千いくらか。すぐに「わかりました」とは言えない立場であることも理解している。ただ、市長にはぜひ前向きにご検討いただきたいと思っている。

この土地は、かつて不法投棄が行われていた場所で、地域の防災訓練の際には、地権者の方をお願いして竹の伐採なども行ってきた。当時は竹が密集していて、中に入れないような状態であった。それを、地域のコミュニティや住民の皆さんが力を合わせて、ボランティアで伐採・整備を進めてきた。

業者に依頼していたら、莫大な費用がかかっている。だからこそ、今の状態まで整備されたこの土地を、市に購入していただきたい。地権者の方も、話し合いができれば前向きに応じてくださる。維持管理についても、地域の元気な方々が継続して担っていけると私は信じている。

この場で即答するのは難しいことは承知しているが、今が一番良いタイミングだと思う。

(都市計画課長)

まず、土地を市が購入するという事になれば、その土地は将来的にずっと市が管理していくことになる。現在は、コミュニティの皆さんが、土地所有者の方から無償で借り受ける形で、公園整備を進めていると伺っている。

市としても、もし今後その土地の購入を考える場合、どのような形で管理・運営していくか、またその公園が一般の方々にとって利用しやすい場所であるかどうかなど、様々な観点から検討する必要がある。先日、現地を視察させていただいたが、例えば車でのアクセスについては、少し入りづらい印象を受けた。こうした点も含めて、慎重に検討していきたいと考えている。

ただし、検討を進めるにあたっては、その前段として、市長から申し上げたように予算の問題もある。また、今後どのようにしていくのかを決めた上で、判断していくことになるので、ご理解いただければと思う。

(所長)

管理する側として、1つお願いがある。

現在、指定管理料はコミュニティごとに異なっており、建物の規模などによって金額が決まっている。その中に、公園の維持管理費も少し組み込んでいただけないか。高額な費用をお願いするつもりはないが、水やりなどの作業が必要であり、水道を通して関係

で維持には一定の費用がかかる。

これまで私たちは、会長を中心に助成金を探し、6年間かけてようやく公園を整備してきた。多くの費用と労力をかけて完成させた公園が、維持できず閉鎖せざるを得ないような状況になるのは非常に残念である。

土地の購入が難しいのであれば、せめて指定管理料の中に、公園維持のための費用を少しでも組み込んでいただければ、私たちも継続的な管理がしやすくなる。ご検討いただけますよう、よろしくお願いいたします。

(地域担当職員 高山)

今のお話は、担当の地域づくり課に伝えて、検討させていただく。

(所長)

少し維持できるような費用を指定管理料に入れていただけるとありがたい。

(市長)

自治会の補助金を1軒あたり300円から倍の600円に、自治会長費も若干ではあるが増額したが、自治会加入率はなかなか上がらない。

(会長)

確かにあの場所は「森林公園」と呼ぶにふさわしい、憩いの空間だと思う。特に夏場は、竹林の中に入ると驚くほど涼しく、気持ちの良い環境である。実際に竹林の中に足を踏み入れていただければ、その温度差や心地よさを実感していただける。

梅の花も見事で、来年の3月のカレンダーにはこの梅の花の写真が採用され、「わくわく森林公園」として紹介される予定である。

この辺りにはない公園だと思うので、ご配慮いただきながら協議を進めていくことが大切だと思う。今後、お力添えをいただければ幸いである。

(男性2)

私は地元住民として、また市議会議員として、さらに元市職員としての立場から、公園づくりについてさまざまな視点を持っている。

先ほどお話があったように、公園整備には方針や計画があり、それに基づいて進めていく必要があるというご意見があった。元職員として、その通りだと感じており、計画に沿って着実に進めていくことが大切だと思っている。

一方で、市議会議員としての立場から申し上げると、4年前の市長公約の中に「各地区のコミュニティセンターの横に公園をつくる」という内容があった。今まさにその実現に向けた取り組みが求められていると感じている。

地元住民としても、公園づくりにはボランティアとして関わってきた。資金面では、会長が本当に苦勞されながら、さまざまな助成金や募金を集めてくださり、ようやく整備が進んできたという経緯がある。

そのような中で、指定管理料について、「担当ではない」という声があったが、これは単なる縦割りの話ではなく、市長にはリーダーとして、こうした地域の声を受け止めていた

だき、今後の公園づくりに反映していただきたいと思う。強く要望する。どうぞよろしく
お願いいたします。

(市長)

現在学校関係の施設整備に一生懸命取り組んでいるが、現状では、工事費がコロナ前の
倍近くに膨らんでいる。

(男性2)

私も市議会で一般質問をさせていただいた際、「10年先の話ではないか」と言われたこと
がある。特に、和式トイレのままでは、子どもたちにとっても不便であり、衛生面でも課
題がある。最低限の設備投資をお願いします。

(市長)

トイレは全校整備している。

(会長)

防災訓練などで小中学校を訪れる機会も多いが、他の自治体はまだ狭くて暗い場所が多
い。トイレ環境は、その地域の生活レベルや文化を象徴するものでもあり、整備に取り組
んでいただけることは、地域にとっても大変ありがたいことである。

今後は、都市計画課の皆さんと協議会の場を設け、時代に合った議論を重ねながら、ゴ
ールに向かっていきたいと思う。市役所は大きな組織なので、すぐに動けることばかりで
はないが、皆さんのお知恵をお借りしたい。

(市長)

本日は、公園の話題を中心に、さまざまなご意見をいただいた。私からも、公園以外の
ことについて少しご報告させていただいたが、今後も引き続き、丸亀市政の運営に対して
ご理解・ご協力、そしてご指導を賜りますようお願い申し上げます。本日は貴重なお時間を
いただき、お礼申し上げます。